

子育てを心から楽しめる社会を！

目黒区議会議員

たぞえ麻友

活動レポート

たぞえとめぐろ
vol.3

2017.JAN



ごあいさつ

新年を迎え、いかがお過ごしでしょうか。

目黒区は昨年物騒なニュースが多く、碑文谷公園、大橋の事件など不安を感じいらっしゃる方も多いかと存じます。目黒区では青色パトロールという警察ではなく区のパトロール車両を走らせています。また、地域による見回り活動も様々行われています。犯罪者が嫌うのは人の目・手が行き届いている地域です。玄関先に防犯灯をつけたり、家の周りのゴミを片付けたりと、住んでいる私たちにもできることはあります。区・地域・私たちとで、更に安全・安心な街を作り上げていきましょう。

10月3日に号外を学芸大学駅前で配布し、以下の2点についてお知らせしました。

ぜひ、お越しください!! ↗

「活動報告会」を開催します！

テーマ

区議会もブラックボックス!?

1月25日(水)

時間 19:00~20:00

場所 中目黒スクエア9階
会議室
(目黒区中目黒2丁目10-13)



事前に参加人数をお知らせください

● E-mail mayutazoe@gmail.com

● TEL 080-8885-6965



子連れOK!

WOMAN SHIFTの活動について

他の区議・市議と共に、政策実現できる女性区議を増やすための活動 WOMAN SHIFTの運営に関わっています。6月17日の「日経新聞」、11月29日の「毎日新聞」で取り上げていただきました。私自身、政策実現について模索しながらですが、多くの女性区議・市議さんと情報交換しながら学んだことを区政に活かしてまいります。

- 碑文谷公園の再開
- 平成29年4月からの認可保育園の利用案内開始



日々の活動は、ブログ、Facebook、twitterをご覧ください。

www.mayutazoe.com

f たぞえ麻友と目黒区の未来を創る会 t たぞえ麻友

たぞえ麻友プロフィール

- 1982年東京都目黒区生まれ 34歳
- 目黒サレジオ幼稚園、目黒星美学園小・中学校・高等学校卒業
- 受験にあたり、予備校の早稲田塾（自由が丘校）にも通学
- 早稲田大学政治経済学部卒業。在学中、南アフリカで開催された持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグサミット）に Youth 枠で参加
- 専門商社に2年勤務後、ベンチャー系経営コンサルティング会社に8年勤務
- 夫、子ども3人（8歳、5歳、3歳）の5人家族。父親と同居。

たぞえ麻友の議会活動

都市環境委員会の報告

目黒区議会には4つの常任委員会があり、月に1度開催されています。区から事業に関する報告があり、それに対して区民の代表である区議9名が様々な観点から質問し、区の事業をチェックしています。たぞえ麻友は今年度、都市環境委員会に所属し、都市整備(道路・公園など)、環境清掃(環境保全、リサイクルなど)、まちづくりに関する質疑を行っています。

■ 目黒川の水質浄化実験

桜の名所としても名高い目黒川ですが、川沿いに住む方はヘドロが原因と思われる悪臭に悩まされています。目黒川は2級河川で都の管轄にあり、目黒区は都条例により日常管理を行なっています。日常管理とは川底をならしたり、ヘドロを吸い上げたりといった作業であり、これにかかる費用は都から拠出されています。では、悪臭がすることについてはどこが対応するのかというと、都曰く「日常管理の中で対応してください。」区は「日常管理ではおさまらない。」ということで議論は平行線です。しかし、やはり悪臭はなんとかしなければならないということで、目黒区独自で「目黒川水質浄化実験」を実施することになりました。2016年9月～2017年1月の期間、目黒川と同じ環境を水槽に作り、3つの実験経過を調べます。3つの実験とは①粉末状の水酸化マグネシウムを入れ、ヘドロが好む酸性の水質を中和させることを狙う ②粉碎した牡蠣殻を入れ、牡蠣殻の隙間に硫化水素を吸い込ませることを狙う ③鉄と炭素を固めた物質を入れ、リンを除去することによってヘドロの発生抑制を狙う。毎月検査をし、2017年3月には結果が取りまとめられます。気温が上昇する前に実験結果を踏まえた対応が始まっていると思いますが、まずは実験結果を待ちましょう。

■ 観察：名古屋市、金沢市、富山市

目黒区の常任委員会では毎年一回、他の自治体の先進事例を観察しています。今年度の都市環境委員会では3つの市を訪れました。**名古屋市：空き家等対策の推進に関する条例** | 国の「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が制定される前に、名古屋市は議員提案で条例制定がなされました。条例制定により、市が空き家となっている家の持ち主を特定し、家の状況を伝え、対応をお願いしています。家が壊れているなどの状況を知った持ち主が対応してくれるケースが多いそうです。

金沢市：歩けるまちづくり推進 | 金沢市は歴史的名所も多く、観光に力を入れている自治体でもあります。しかし、自動車社会により、街並みよりも車が優先されることによる景観阻害、また市民の歩く時間の低下、賑わい空間の喪失など様々な課題がありました。交通規制による通過交通を低減、地域による歩行者天国の実施など、様々な施策を展開していました。

富山市：コンパクトシティ | 富山市の特性として、持ち家志向・車社会の浸透があり、住宅地が中心地から離れて拡大してきました。住宅地の拡大と人口減少は人口がまばらに点在することを意味し、限られた財源で行政サービスを行き渡らせることが難しくなります。そこで、富山市は既存公共交通に介入し、LRT(Light Rail Transit)の導入・増便・新駅の設置などで公共交通を蘇らせ、車のみだった移動からの脱却を図りました。また、中心地・公共交通沿線に住み始める世帯への補助事業を進め、緩やかに人口を集約し、文字どおりコンパクトシティを作り出しています。

議会での質問その後

議会でこれまでに3回的一般質問をしてきました。その中で実現できしたこと、できそうなことについてご報告いたします。

■ 保育園申請の説明会(2016年9月議会)

質問：現時点で目黒区で保活をしなくて認可保育園に入れる見込みはないので、せめて『保活』の負担が軽くなるように、区の保育サービスに関する情報を集約し提供する「保育コンシェルジュ」サービスを行ってほしい。それが叶わないのであれば、墨田区が実施しているような保育園の申請に関する説明会を実施してほしい。

答弁：「保育コンシェルジュ」という名前で保育サービスに関する情報提供は行わないとのこと。説明会に関しては、「保活」の基礎的な知識に関する説明会の実施について“やります”と明言！

その後：実現！ 11月4日に説明会が総合庁舎の大会議室にて開催されました。50名定員いっぱいになり、質疑も活発に行われたそうです。託児サービスもありました。赤ちゃんと一緒にだと、説明に集中できないので助かりますね。

■ ホームページ改修(2016年2～3月議会)

質問：目黒区のホームページを他の区と比較すると、見づらく、欲しい情報が探しにくい。もっと他の区のホームページを参考にして、見やすい、探しやすいホームページにして欲しい。(他の区のホームページと目黒区のホームページをパネルを用いてその場で見比べてもらうことで、その見づらさが一目瞭然になりました。)

答弁：必要な方に必要な情報を的確に発信する手法につきましては引き続き検討し、充実を図るよう努めてまいりたいと考えております。と曖昧な表現で終わりました。

その後：実現するかも？！ 2016年9月議会の一般質問では、ホームページについてだけでなく大きく広報戦略について質問しました。広報は事業の肝だ！ということを念押ししました。まもなく平成29年の予算編成が始まります。現在、ホームページ改修に関する予算が計上される可能性が出てきました。区民の方からもよく「区の最新情報ってどこで見れるの？」とのお声をいただく中で、費用のかからないSNSにも力を入れるなど広報力の向上を更に訴えていきます。

課題は山積みです！やれることを着実に！

- 保育園の点数制度の見直し：加点2点をめぐる保活の過当競争を是正したい
- 目黒区広報戦略の見直し：SNSの活用による迅速な情報提供。
- 乳児期のお子さんと保護者がもっと遊べる場の提供：学校の体育館、校庭を夜間・土日だけでなくもっともっと開放してほしい。

<母子保健、障がい児に関すること、在宅療養についてなど、着実に課題解決できる領域を広げています！！！また、区民のみなさまからの声も課題発見・解決の力になります。ぜひ、声を聞かせてください！！！>